



やまもと りょうすけ
山本亮介 議員
Yamamoto Ryosuke

Q. 次のグループホームの建設は

A. 運営状況を踏まえ検討する

12月定例会

討議

審議結果

委員会視察

一般質問

Q 社会福祉法人西春日井福祉会の障がい者施設は、北名古屋市の尾張中部福祉の杜しかない。清須市、北名古屋市、豊山町（尾張中部福祉圏域）で負担している。圏域の中心に施設整備が集中して行われるのは課題の一つと考えるが、町はどのように考えているか。

A 生活福祉部長
障がい者のニーズに応じて施設整備が必要であれば、整備する適地なども含めて、西春日井福祉会に対し、働きかけを行っていきたい。

Q 建設予定のグループホームの定員が10名、男女5名ずつでは、受け入れ人数として十分ではない。二つ目、三つ目と更に整備していく必要があるのでは。

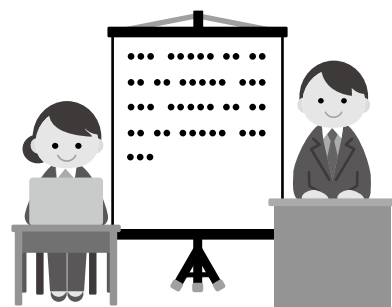
A 生活福祉部長
グループホームについては、清須市、北名古屋市、豊山町や西春日井福祉会で、施設整備に向け調整を行っている。今後は、グループホームの開設後、運営状況を踏まえながら検討していく。

Q 西春日井福祉会が2021年までにグループホームを建設することについて、町内の障がい者の家族にはお知らせしたか。

A 生活福祉部長
詳細が未確定であるため、お知らせしていない。詳細が確定した段階で、改めてお知らせする。

Q 尾張中部福祉圏域の障がい者福祉サービス、それぞれに施設を探すができる冊子またはパンフレットなどを作成してはどうか。

A 生活福祉部長
圏域内のサービス事業者一覧を作成し、HPに掲載している。今後、障がい者施策の総合的な冊子の作成を検討していく。



Q 様々な講演会や式典などで、情報保障手段として増えてきているのがパソコン要約筆記である。手書きでの要約筆記よりも多くの情報を保障することができる。町の式典や講演会で導入してはどうか。

A 生活福祉部長
パソコン要約筆記の導入については、先進自治体の事例を調査研究していく。

A 生活福祉部長
障がい福祉サービス制度が円滑に運営されるように、愛知県町村会を通じ、国に対して要望を行っていく。

Q 今後の町の障がい者福祉の推進について、町長の意気込みを聞かせていただきたい。

A 生活福祉部長
福祉、医療、雇用、教育などの各分野の施策を総合的に展開することで、障がいのある方が、自ら適切に意思決定を行い、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを目指していきたいと考えている。



Q 町から国に対して、障がい者福祉サービスの報酬単価の引き上げや職員の処遇改善を要望していただきたい。